



2020年5月8日

各 位

会 社 名 株式会社はるやまホールディングス
代表者名 代表取締役社長執行役員 治山 正史
(コード番号 7416 東証第1部)
問合せ先 経 理 部 長 一ノ瀬 達也
(TEL 086-226-7101)

業績予想の修正及び特別損失計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月14日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失の発生につきましてお知らせいたします。

記

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,500	2,000	2,300	1,000	61.34
今回発表予想(B)	50,582	376	639	402	24.70
増 減 額 (B-A)	△2,918	△1,624	△1,661	△598	—
増 減 率 (%)	△5.5	△81.2	△72.2	△59.8	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	55,554	1,829	2,151	△248	△15.22

1. 修正の理由

通期の連結業績につきましては、暖冬による秋冬物衣料品の販売不振や消費税率引き上げの影響を受けつつも、「健康」をキーワードに事業を展開するなど他社との差別化戦略により1月から2月中旬にかけては堅調な売上推移をみせておりました。しかしながら、2月下旬頃からのフレッシュヤーズ商戦において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、減収の結果となりました。一方で、経費の効率化などには従前より積極的に取り組んでまいりましたが、減収の影響は大きく、営業利益、経常利益が前回予想を下回る見込みとなったことに加え、下記のとおり特別損失を計上することなどで、親会社株主に帰属する当期純利益も前回予想を下回る見込みとなりました。

2. 特別損失の発生

営業店の閉店・移転・改装等に伴う固定資産除売却損を115百万円、営業店の収益性の低下等による減損損失を200百万円など合計345百万円の特別損失を計上する見込みです。

これらの特別損失については、上記の連結業績予想の修正に織り込んでおります。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上